

## 多摩川およびその流域の環境浄化に関する 基礎研究、応用研究、環境改善計画のための助成研究募集

財団法人とうきゅう環境浄化財団（会長 清水 仁）は、1975年（昭和50年）より、多摩川およびその流域の環境浄化の促進や自然環境の保全などに必要な調査や試験研究を毎年公募してきました。

その結果、これ迄に463件（学術研究282件、一般研究181件）の調査・試験研究のお手伝いをさせていただきました。

2007年（平成19年）4月からの助成についても、従来と同様、学術研究と一般研究とに分けて、意欲的な調査や試験研究を募集致します。

### 記

#### 1. 応募資格者

下記研究対象テーマに掲げた調査や試験研究に意欲のある方であれば、どなたでもご応募いただけます。

#### 2. 助成研究対象テーマ

- ① 産業活動または住生活と多摩川およびその流域との関係に関する調査および試験研究
- ② 排水・廃棄物等による多摩川の汚染の防除に関する調査および試験研究
- ③ 多摩川およびその流域における水の利用に関する調査および試験研究
- ④ 多摩川をめぐる自然環境の保全、回復に関する調査および試験研究

#### 3. 応募方法

当財団所定の申請書に必要事項を記入、捺印の上、財団宛ご提出下さい。  
「募集要項」「申請書」はホームページ上からダウンロードするか、200円切手同封の上、財団宛ご請求下さい。

<http://home.q07.itscom.net/tokyuenv>

#### 4. 助成の決定

2007年3月に開催予定の当財団選考委員会で選考のうえ、理事会に諮って最終的に決定致します。

## 5. 助成研究の種別と諸条件

研究の種別	学術研究	一般研究
研究の区別	環境問題改善のための調査や試験研究で、専門性が高く、その分野の学識経験を必要とするもの。 (財団のホームページで過去の研究事例をご参照下さい。)	環境問題改善のための調査や試験研究で、一般の市民が、特別な学識経験を必要とせず取り組めるもの。
1件当たりの助成金総額の上限額	400万円	200万円
単年度の助成金上限額	200万円	110万円
研究期間	最長2ヶ年	最長2ヶ年
助成対象費目 (1) 器具備品費 (2) 消耗品費 (3) 旅 費 (4) 謝 金 (5) そ の 他	<p>原則対象外。ただし所属機関・個人所有もなく、調査や試験研究に必要な不可欠な物品で選考委員会で認められた場合に限る。</p> <p>(2) 消耗品費 調査や試験研究に用いる各種材料、部品、薬品等。 (3) 旅 費 調査や試験研究のための交通費、宿泊費等。 (4) 謝 金 調査や試験研究のために臨時に雇った人の謝金等。 (5) そ の 他 器機・設備などの賃借料、通信費、その他。</p>	
<p>尚、学術研究へのご応募は、①研究計画の全てが助成金によるものではないこと。②旅費、謝金は、それぞれ助成金要望額の30%程度を上限の目安とすること、の2点に特にご留意下さい。上限の目安を大幅に超える場合は、その理由を詳細に記した説明書を添付し、申請書と併せてご提出下さい。</p>		

### [注意事項]

- ①ご応募にあたっては、当財団の定める「調査・試験研究助成に関する調査・試験研究の選定基準、助成の方法、調査・試験研究の実施方法、助成金の支払い方法ならびに調査・試験研究者の個人情報保護の方法に関する規程」を必ずお読み下さい。
- ②過年度に不採用となった調査や研究の再応募は受付けておりませんので、同一の調査・試験研究課題で再応募される場合は、前回のものと調査や試験研究の内容のちがいがよく判るよう工夫して、申請書をご作成下さい。

## 6. 応募締切日 2007 (平成19年) 年1月15日 (月)

応募についての詳細は、下記財団事務局へお問い合わせ下さい。

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1丁目16番14号 (渋谷地下鉄ビル内)

財団法人 とうきゅう環境浄化財団

TEL. 03-3400-9142 FAX. 03-3400-9141